

平成26年度 医療連携推進事業 第4回検討会

日時；平成26年11月4日（火）19：00～

場所；岩見沢歯科医師会会議室

1、挨拶

2、出席者紹介

3、報告事項

・9月28日 講演茶話会について

参加人数 第1部 約100名 第2部 約65名

（報告書添付）

4、協議事項

*シンポジウムについて

日時；H27年3月1日（日）10：00～

会場；ホテルサンプラザ

基調講演講師；北海道医療大学 看護福祉学部 山田律子教授

シンポジニスト 2～3名（各職種バランスよく）

<案>基調講演1時間30分

シンポジニスト講演 計30分

討論 30分

今回の茶話会をふまえて何か参加者の交流を図れる場を企画？

*介護者・家族向け小冊子（案添付）

口腔機能全般を維持することの大切さを啓蒙する冊子にする

<内容>

- ・口腔の果たす役割
- ・口腔の問題点の見つけ方、観察点
- ・歯科医療の必要性
- ・訪問歯科診療の案内

予算みて作成（大きさ、ページ数等決める）

5、その他

・次回開催について・・・忘年会を兼ねて

山田律子のプロフィール

現職、北海道医療大学看護福祉学部／北海道医療大学大学院看護福祉学研究科・教授。千葉大学看護学部卒業。東京大学大学院医学系研究科修士課程修了、北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士課程修了。札幌市中央保健所訪問指導員(副代表)、医療法人溪仁会西円山病院病棟主任などの臨床実践と、北海道医療大学看護福祉学部助手・講師・准教授、ミネソタ大学大学院Visiting Scholarなどを経て、2009年から現職。

主な専門は「老年看護学」「認知症ケア」であり、1993年から認知症高齢者の食事支援に関する研究に着手し、昨今は看護職・介護職・医師・歯科医師・管理栄養士と共同研究や講演活動しながら、認知症の原因疾患や重症度を踏まえた摂食・咀嚼・嚥下障害の特徴と食事支援に関する研究を進めている

医療連携推進事業報告書

事業名	医療連携推進事業 講演茶話会
実施月日	平成 26 年 9 月 28 日（日） 10：00～12：30
実施場所	ホテルサンプラザ
参加人数	講演会約 100 名、茶話会約 65 名
<p style="text-align: center;">事業内容</p> <p>医療連携推進事業（北海道保健福祉部補助事業）の今年度事業第 1 弾として講演会・茶話会を開催。</p> <p>第 1 部は基調講演を枝広あや子先生を招いて「みんなで取り組む認知症の方の食支援」と題して認知症・要介護高齢者の食支援について連携をふまえて講演。約 100 名の参加があり、介護において切実な問題であるいかに口から食べられるようにするかという点について有意義な講演であった。</p> <p>第 2 部として連携を深め、顔の見える関係を築くため 今回は初めての試みで茶話会を開催。約 65 名が参加し講演内容についての話、現在の食支援についての問題点などについて、和やかな中で、熱い話し合いができたと思います。直接交流することにより、距離も縮まり今後の連携に生かせればと思います。</p> <p>反省点；第 1 部から 2 部への転換に時間がかかり、茶話会に時間が少し不足した点。 参加人数の把握が難しかった点（FAX の誤送信、当日の変更等）</p>	
<p style="text-align: center;">経費</p> <p>会場費：¥ 100000</p> <p>講師謝礼：¥ 50000 交通費：¥ 80000</p> <p>チラシ作製、郵送 約 ¥ 60000</p> <p style="text-align: center;">以上北海道庁補助金</p> <p>懇親会岩歯負担分；¥ 17920</p>	